



～なでしこらむ～

今年は久しぶりに群馬の冬を感じられた寒い冬で、春を迎えてもしばらく寒い日が続きました。

今回は春の花シラネアオイです。花言葉は、優美・完全な美。漢字で書くと白根葵。日光白根山に多く自生しています。

撮影：新井利雄さん

※写真がご趣味の患者さん、ぜひ1階地域連携室までご連絡ください。

萎縮医療からの脱却をめざして



副院長
石原 茂樹

医療安全を担当する医師として医療を取り巻く環境について、多くの心配があります。ここでは、感じていることを書いてみます。医療に関わる裁判でマスコミに大きくとりあげられているものがあります。一つは、「割りばし事件」です。4歳の男児が綿アメの割りばしでのどを刺し、救急外来を受診、医師はのどの診察と、傷の処置をして帰宅させ、翌朝に男児は死亡。診察した医師が業務上過失致死罪で起訴 1審・2審とも無罪になっている事例です。もう一つは、「帝王切開後の妊婦死亡に関わる事件」です。この件は帝王切開術を受けた女性が死亡したのは医師の胎盤剥離術に問題ありということで警察は医師を逮捕、業務上過失致死罪および医師法21条違反で裁判が進行中です。

このようなことが実際に起こっている現状をみるにつけ、医師は医療行為により訴えられたり、逮捕されたりすることを避けるために、以前にくらべ、診断困難な救急医療や危険度の高い医療への取り組みを尻ごみする状況にあります。「萎縮医療」と呼ばれています。

この傾向は若い医師たちにも影響し、外科や、訴訟リスクの高い産婦人科の志望者が少なくなっているのも事実

です。これは、今後の医療を考える上で大きな問題です。

医療行為の結果が悪かった場合、訴訟となったり、逮捕される事態になるようでは、当然のごとく困難な医療行為から撤退するようになります。「手術をしない病院」などがマスコミに取り上げられるようになっていますが、それほどまでに医療が追い詰められているということでもあります。これからの医療への警鐘でしょうか。医療を提供する側も、医療を受ける側もよくよく考えなければなりません。

現在、厚労省は「死因究明等の在り方検討会」の中で調査委員会を設置する試案を提示し議論をすすめています。診療関連死の定義、調査結果の活用法などに、さまざまな意見がだされています。病院としては、医療を安全に提供することが課題ですが、医療システムとして医療関係者が積極的に医療に取り組める環境整備も重要です。そのためには、調査委員会の目的が医療関係者を罰することを前提とした犯人探しとならず、再発防止にむけた安全対策を検討する場になってほしいと考えています。



～群馬県済生会前橋病院の理念と基本方針～

理
念

愛
と
希
望

基本方針

- 一、私たちは、患者さんに公正な医療を提供します。
- 一、私たちは、患者さんの人格・意志を尊重します。
- 一、私たちは、医療の質の向上をめざし、常に努力します。
- 一、私たちは、地域社会の要望に対応した医療・福祉の充実をはかります。
- 一、私たちは、互いに信頼し、感謝する心で、仕事に取り組みます。

AEDで救命に成功！



院内の各所に自動体外式除細動器（AED）が設置されているのにお気づきでしょうか？

これは、心室細動（放置すると数分で死に至る激しい不整脈）の緊急治療のために電気ショックをかける器械で、近年、駅・空港・学校などに置かれ始めています。

当院でこのAEDが人の命を助けたことがありましたので、報告いたします。

2007年夏の暑い日の夕方、60歳代の男性が「さっきから胸が苦しいんだ」と言って自分で歩いて来院されました。看護師が患者さんを救急外来のベッドに誘導し、当直医の私を呼んだのですが、その直後に患者さんはベッドの上で意識をなくしてしまいました。確認すると、呼吸が停止し脈が触れません。成人でこのように急に意識がなくなって呼吸・脈がない場合、上記の心室細動が原因であることが多いのです。治療が遅れば1分ごとに命が助かる確率が10%ずつ低下してしまう、という緊急事態です。そこで私たちは、大声で人を集めつつ心臓マッサージを開始、そして集まった職員に外来からAEDを持ってきてもらいました。

電源を入れ、患者さんに電極を装着して解析ボタンを押したところ、「（電気）ショックの適応があります」と音声流れました。つまり患者さんは確かに心室細動になっていたのです。そのまま通電ボタ

循環器内科部長

池田 士郎



自動体外式除細動器（AED）

ンを押し電気ショックがかかりました。瞬時に心室細動は治まり患者さんは意識を取り戻しました。

実はこの患者さんは急性心筋梗塞になっており、心室細動が起こりやすくなっていたのでした。そのまま循環器内科に入院し、緊急カテーテル治療で心臓の血管（冠動脈）を拡張することができました。そして14日後に退院し、元と変わらない生活を送っておられます。

目の前で人が倒れると、誰もがあせるでしょう。しかしAEDは操作法が簡単なので、そのように動転したときにも、扱いやすく速やかに治療ができるようになっています。

当院でも事務職を含む全職員を対象に講習会を開いております。そして少しずつ救命の輪を広げ、理想的にはすべての市民の方々がAEDを使用できるようになれば、と考えております。みなさんもまずは院内のAEDを見つけたら興味を持って覗いてみてください（ただしケースをあけるのは実際に使用するときだけにしてくださいね）。



全病棟、外来フロアなど院内の11カ所に設置

新さわやか健診・後期高齢者健診・がん検診が始まります♡♡

新さわやか健診（特定健診・特定保健指導）

平成20年4月から、健診担当が各市町村から国民健康保険や社会保険などの医療保険者に引き継がれます。これに伴い、前橋市では、従来の「さわやか健診」を見直し、特定健診が同時に受けられる「新さわやか健診」に名称変更し、特定健診・特定保健指導が実施されます。

「新さわやか健診」では40～74歳の方を対象として、生活習慣病を予防しメタボリックシンドロームの予防、改善を目的とした健診が実施されます。さらに健診結果から必要度に応じて、メタボリックシンドロームの予防、改善に有用な情報提供、専門家からのアドバイスなどの「特定保健指導」（動機付け・積極的支援）が行われます。

75歳以上の方は、「後期高齢者医療制度（長寿医療制度）」という新しい制度で医療を受けることになり、特定健診並みの「後期高齢者健診」が行われます。

群馬県済生会前橋病院では、新さわやか健診を受けられた方で「特定保健指導」（動機付け・積極的支援）が必要な場合には、当院検診センターで専門の医師、保健師、管理栄養士による保健指導を受けることができます。

がん検診

がん検診は従来どおり、胃がん、大腸がん、前立腺がん、乳腺甲状腺がん、子宮がん検診が実施されますので、「新さわやか健診」「後期高齢者健診」とあわせて予防医学、健康管理を行うことをお勧めします。



当院で受診される方は・・・

当院では、平成20年度から新さわやか健診・がん検診を行ないます。

待ち時間が少なく健診が受けられるように、原則として予約制としております。予約枠に空きがあれば、当日に健診実施が可能な場合もありますが、できる限り予約を取っていただくようお願いいたします。

例年、11月以降の年度後半に希望される方が多く、ご希望に十分対応できなくなることが予想されますので、早めに新さわやか健診・後期高齢者健診・がん検診を、電話或いはご来院時にご予約の上受診されますようご案内申し上げます。

図書コーナーのご案内

昨年4月より1階中央待合に図書コーナーを設置いたしました。これは、外来にいらした患者さんが、診察や会計、お薬の待ち時間にお読みいただいたり、入院患者さんが療養中にお読みいただけるようにと考えたためです。患者さんが興味をお持ちの健康や病気に関するものや、食についての本、また、小さい子供さんには、絵本や漫画など、幅広く約1,000冊の本を配置いたしました。これらの本は、前橋市市立図書館（廃棄図書の利用）や県立図書館（除籍図書）より趣旨をご理解いただき頂いたものです。

図書コーナーを設置したことで、「待ち時間が苦痛でなくなった」、「薬の本を見て勉強になった」

など、患者さんから喜びの声をいただきました。

今後は、より幅広い本の設置を予定しており、患者さんや地域の皆様からも本のご提供をいただければと考えております。

（受付先：1階地域連携室）



中央待合に設置された図書コーナー

呼吸療法認定士の紹介



「呼吸は、人間が生命を維持していく上で
基盤となる大事な機能です。」



呼吸療法認定士
(看護師)
今井 恵



呼吸療法認定士
(臨床工学技士)
高橋 公德

この資格は、日本胸部外科学会、日本呼吸器学会、日本麻酔科学会が合同して 1996 年から開始され、講習と試験により資格が与えられます。受験資格は、臨床工学技士、看護師、准看護師、理学療法士の中で 2 年以上（准看護師は 3 年）の実務経験を持った人です。現在、当院には認定取得者が 8 名います。

呼吸器の障害は、上気道の狭窄や閉塞、閉塞性・拘束性肺疾患、呼吸中枢の障害、肺血管系障害などで起こり、酸素及び二酸化炭素のガス交換が障害されると、呼吸機能の低下に伴い日常生活にも影響が及びます。急性期、慢性期、共に身体的・心理社会的にも援助が必要となり、総合的な評価を行い適切な指導が要求されます。

実際の呼吸療法認定士の主な業務内容を紹介します。当院の呼吸器外来においては、「息切れがする、

階段を登ると息苦しい、咳が続いている」など様々な症状で来院される方がいます。また、在宅で酸素療法を行っている方もいらっしゃいます。そういった呼吸機能に障害がある方が、少しでも楽に過ごせ、普通の生活を送ることができるように、生活指導や在宅酸素療法の説明、及び自宅で行える呼吸リハビリ等について支援し、またそれぞれ、医師や他部署と連携を図りながら、より良い呼吸ケアが提供できるように活動を行っています。

病棟での人工呼吸管理は、侵襲の大きな手術後や呼吸不全はもちろん、循環不全、代謝不全、中枢神経障害なども適応となるため、すべての診療科で人工呼吸器を管理できる環境を整えておく必要があります。医師とともに医療チームを構成する呼吸療法認定士は、人工呼吸器の操作と保守管理を臨床工学技士、全身状態の評価と身体的ケアを看護師、呼吸訓練と運動療法を理学療法士とそれぞれの専門知識を活かし、効果的な呼吸療法を実践することを目標としています。

今後の取り組みとしましては、呼吸器の障害を持つ方々の支援を標準化し、他職種ともチームを組んでアプローチしていけたらと考えています。



専門知識で患者さんをケアしています



腎臓病とうまくつきあうには

2008年3月8日（土）、『腎臓相談会』を開催いたしました。これは、普段あまりなじみのない腎臓病について、地域の皆さんに知っていただき、健康管理に役立てていただこうと実施したものです。

今回は腎臓内科部長の菅医師が「腎臓病とうまくつきあうには」のテーマで講演を行いました。会場には、予想を大幅に上回る150名を超える方にご来場いただき、身動きが取れないような状況でしたので窮屈な思いをおかけしてしまいましたが、ご来場者からは、勉強になった、役に立ったとの言葉をいただき、大盛況の会になったことにスタッフ一同感激しております。

今後も地域の皆さんに役に立つ行事を実施してまいります。



予想をはるかに超える参加者にスタッフも右往左往でした。ご来場ありがとうございました。



消化器疾患

2008年3月4日（火）旧西武跡地に新装なった中央公民館の前橋プラザ元気21に於いて、消化器内科部長の家崎医師が『便潜血陽性』について講演いたしました。東地区の高齢者教室として昨年実施したもので、聴講者の評判が大変良く、東地区の生涯教育奨励員さんを対象に第2回目を実施、さらに今回は前橋市高齢者自主学习団体連絡協議会役員の方に第3回目として実施したものです。実際の内視鏡検査の様子のビデオには、本物の消化器の画像が

映し出され、出席者からは初めて見た、良かったなどの感想が聞かれ、大変好評でした。



初めて見る消化器の映像にビックリ

子どもの救急ってどんなとき？



子どもの人形を使い説明

2008年3月5日（水）群馬県地域防災センターにおいて、小児科部長の大島医師が『子どもの救急ってどんなとき？ 小児科医が語る子どもの救急対処法講座』と題し、子どもの救急対処法について講演しました。講演には小さい子どものお母さんを中心に100名近くの方が参加し、熱心にメモを取りながら聴いていました。人形を使って心臓マッサージの方法を説明したり、実際の誤飲のレントゲンを見て注意を促すなどし、多数の質問を受けていました。

外 来 医 師 診 療 表

午前の一般外来

2008/4~

月	内科			循環器内科		外科	小児科	整形外科	眼科	泌尿器科
	総合外来(初診)		一般	一般	睡眠障害外来					
	9:00~10:30	10:30~12:00								
月	畑 中	福 田	佐倉・菅 (血) (腎)	池 田		西 田 尾 嶋	大島(一般) 鈴木尊裕(循)	後 藤 長谷川	榎 石原美紀江	鈴木 (群大教授)
火	宮 脇	交替制	樋口・河合・神田 (消) (腎) (消)	福 田 広 井		細 内 鈴木茂正	大島(一般)	中 島 澁 澤	岸 (群大教授) 石原美紀江	
水	へん 逸 見	逸 見 池 田	樋口・宮脇・吉永 (消) (血) (消)	福 田 宮 崎		西 田 平 山	大島(一般) 鈴木尊裕(循)	中 島 田 鹿	石原美紀江	
木	河 合 佐 倉	初 見	家崎(消)・針谷(腎) 高田(血)・石塚(呼)	福 田 池 田		細 内 持 田	大島(一般)	長谷川・澁 澤 白 倉(群大教授) リハビリ(第1,3)	石原美紀江	
金	吉 永	家 崎	宮脇・矢田 (血) (消)	池 田 第1,2,3 福 田 第4,5	福 田 第1,2,3	西 田 尾 嶋	大島(一般) 鈴木尊裕(循)	後 藤 田 鹿	石原美紀江	
土	交替制	交替制	星野(血)・交替制 内分泌(第1,3) 荻原 呼吸器(第1,3,5) 岡山	福 田 池 田		交替制	第1:下山(循) 第3:鈴木(循) 第5:大島(一般)	第1:中島・長谷川 第3:後藤・田鹿 第5:後藤・長谷川	群大	

午後の特殊外来

*セカンドオピニオン外来のお問合わせ・お申込みは地域連携室(027-252-1751)までご連絡ください。
*総合外来の担当医師は変更することがあります。

内科・循環器内科・心臓血管外科

小 児 科

月	心臓血管外科外来	石原茂樹・石山	喘息・アレルギー・慢性疾患	大島
火	内分泌外来	荻 原	循環器	鈴木尊裕
水	血液外来	宮脇・佐倉・高田 初見・星野	喘息・アレルギー・慢性疾患	大島
木	心臓血管外科外来	石原茂樹・石山		
金	ペースメーカー外来	池田(第1,3,5)宮崎(第2,4)	循環器	鈴木尊裕
	内分泌外来	青 木		
	呼吸器外来	牧 元		
	肝臓外来	高木(第1,2,4)・矢田・神田	乳児健診(第1,3)	大島
	内分泌外来	荻 原	予防接種	大島
	腎臓外来	河合・菅	喘息・アレルギー・慢性疾患	大島
	呼吸器外来	岡山(第2,4)	循環器	鈴木尊裕

午前の一般外来の受付時間は午前8時30分~午前10時30分です。(診察開始は9時です。)午後の特殊外来は完全予約制です。
休診日は、日曜日、祝祭日、年末年始、第2・4土曜日です。

患者様へ ●さわやか検診のお問合わせは 医事課窓口 ☎027-252-6011 内線1101
●人間ドックのご予約は 検診センター ☎027-252-1959(直通)
医療機関様 ●初診(診療・検査・入院等)のご紹介は 地域連携室 ☎027-252-1751(直通) } までご連絡ください。
●CT・MRIのご予約は 放射線科 ☎027-252-6011 内線1502
介護関連 ●前橋市高齢者福祉サービスのご相談は 前橋市在宅介護支援センターあずま荘 ☎027-255-1511
●介護保険サービスに関するご相談は 居宅介護支援事業所あずま荘 }

病院案内図



上信バス時刻表案内

行先	中央 前橋駅行	前橋駅行	高崎駅行
7	x06	46	x05 37
8	26		07 46
9	03	43	26
10	23		06 46
11	43	03	26
12	33		16
13		23	06 56
14		13	46
15	53	03	36
16		33	16 56
17	54	13	36
18	33		16 56
19		13 48	33
20	x29		x11

×印は日祝日は運休

交通のご案内

- 新前橋駅よりタクシーで10分
- 前橋駅よりバスで20分
- 高崎駅よりバスで40分

●病棟直通電話●

《循環器内科・心臓血管外科病棟》
TEL.027-252-1759

ホームページもご覧ください。

<http://www.maebashi.saiseikai.or.jp>